



厚生センター・保健所での

HIV 検査は無料・匿名

自分の状態を確認してね

感染症発生動向速報

平成 30 年 5 月 30 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

(平成 30 年第 21 週分・5 月 21 日～5 月 27 日)

《 インフォメーション 》

● HIV 検査普及週間

厚生労働省エイズ動向委員会によると、平成 29 年の 1 年間に、新たに報告された HIV 感染者は 992 人、エイズ患者は 415 人、合わせて 1,407 人でした(速報値、図参照)。これは、**新規の感染者が、全国で毎日約 4 人ずつ報告されている**計算になります。富山県においても、毎年数人程度報告されています。

エイズの原因ウイルスである HIV は、人の免疫細胞に感染します。エイズでは、免疫細胞が HIV に次々と破壊され減少し、体の抵抗力が無くなり、様々な病気にかかりやすくなります。HIV に感染しても、直ぐにエイズを発症するわけではなく、自覚症状の無い状態が数年続きます。そのため、この感染症は初診時の状態により、エイズ発症前に診断された「HIV 感染者」と、エイズ発症後に診断された「エイズ患者」に分類されます。また、既に HIV 感染者として報告されている症例がエイズを発症した場合(病変エイズ)は、報告の対象となりません。現在、エイズ患者の報告は、全体の約 3 割を占めており、**自分の感染に気が付いていない人が多数存在している**と考えられています。

厚生労働省は、6 月 1 日～7 日を「HIV 検査普及週間」と定め、HIV 検査の普及を図っています。この期間、県内の厚生センター・保健所では、通常の検査体制に加え、平日夜間や休日での検査を実施しています。エイズ発症前に検査で HIV 感染を知ることは、感染拡大防止や、早期治療開始のために重要です。この機会に検査で自分の状態を確認してみませんか？

《 全数報告の感染症 》

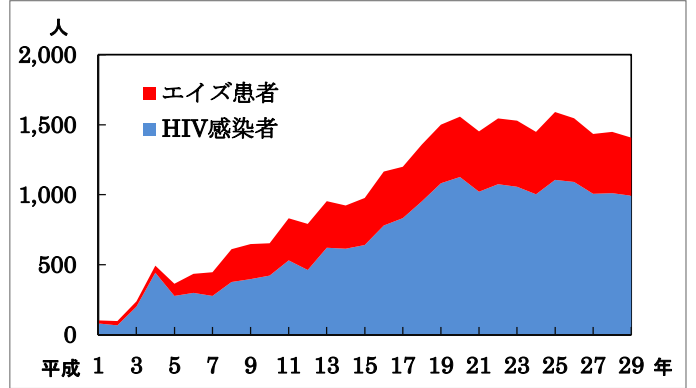
- 二類感染症 結核 5 件 (①第 20 週診断分：80 歳代、女性 ②70 歳代、男性
③④ともに 70 歳代、女性 ⑤80 歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 件 (①10 歳未満、男性、O111、VT1
②40 歳代、女性、血清群不明、VT1 ①②ともに第 20 週診断分)
- 五類感染症 水痘(入院例) 1 件(10 歳代、男性)
梅毒 1 件(第 20 週診断分：30 歳代、女性、早期顕症梅毒Ⅱ期)
風しん 1 件(50 歳代、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	6.41	7.03	↓
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.97	2.38	↓
3 位	咽頭結膜熱	0.79	0.86	↓
4 位	水痘	0.48	0.21	↑
5 位	R S ウイルス感染症	0.34	0.52	↓
6 位	突発性発しん	0.31	0.34	↓

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

新規 HIV 感染者・エイズ患者報告数の推移(全国)



○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第21週 平成30年5月21日～平成30年5月27日）

分類	疾患	今週報告分（第21週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核	1		1	2		4	4	7	28	9	33	81
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症											3	3
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎											3	3
	つつが虫病											1	1
	レジオネラ症							1		2	2	16	21
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									1		5	6
	急性脳炎							1					1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							3		4	2	3	12
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	3	3	11	21
	水痘（入院例）			1			1	1		1		1	3
	梅毒									1		4	5
	播種性クリプトコックス症											2	2
	百日咳											1	1
	風しん				1		1					1	1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ			2	2		4	2,209	1,824	3,477	2,440	5,331
				0.15	0.29		0.08						
RSウイルス感染症		1				9	10	32	20	43	24	188	307
		0.25				0.90	0.34						
咽頭結膜熱		8	3	4	2	6	23	126	47	162	14	207	556
		2.00	1.00	0.50	0.50	0.60	0.79						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	5	25	7	17	57	81	68	359	145	434	1,087
		0.75	1.67	3.13	1.75	1.70	1.97						
感染性胃腸炎		29	14	29	9	105	186	578	371	637	135	1,508	3,229
		7.25	4.67	3.63	2.25	10.50	6.41						
水痘				6	2	6	14	7	3	68	46	70	194
				0.75	0.50	0.60	0.48						
手足口病				1		3	4	1	8	20	10	79	118
				0.13		0.30	0.14						
伝染性紅斑				5	1	1	7	3	1	49	24	10	87
				0.63	0.25	0.10	0.24						
突発性発しん		3		3	1	2	9	29	20	85	25	62	221
		0.75		0.38	0.25	0.20	0.31						
ヘルパンギーナ								1		1	1		3
流行性耳下腺炎						2	2	1	5	7	2	13	28
						0.20	0.07						
急性出血性結膜炎											10		10
流行性角結膜炎							1	11	3	1	2	18	
細菌性髄膜炎											3	3	
マイコプラズマ肺炎								2	4	3	7	16	
クラミジア肺炎				1		1					1	1	
				1.00		0.20							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								3		2	2	6	13
インフルエンザによる入院患者（*）								51	55	39	150	93	388

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。